

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公開番号】特開2017-201531(P2017-201531A)

【公開日】平成29年11月9日(2017.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-043

【出願番号】特願2017-102210(P2017-102210)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0484 (2013.01)

G 0 6 F 3/0488 (2013.01)

G 0 6 F 3/0481 (2013.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

G 0 9 G 5/377 (2006.01)

G 0 9 G 5/22 (2006.01)

G 0 9 G 5/26 (2006.01)

G 0 9 G 5/38 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/0484 1 5 0

G 0 6 F 3/0488

G 0 6 F 3/0481 1 5 0

G 0 9 G 5/00 5 3 0 H

G 0 9 G 5/36 5 2 0 D

G 0 9 G 5/36 5 2 0 M

G 0 9 G 5/00 5 3 0 M

G 0 9 G 5/22 6 3 0 G

G 0 9 G 5/26 G

G 0 9 G 5/26 C

G 0 9 G 5/38 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月7日(2018.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

上記の目的を達成するために、本発明の情報処理装置は、表示部に対するタッチ操作を検出する検出手段と、選択された画像を前記表示部に表示するように表示制御する表示制御手段と、前記画像に重畳して表示する表示アイテムの入力を受け付ける入力受付手段と、前記表示部に前記画像が表示されている際に、前記検出手段で検出される、前記画像が表示されている領域で行われたタッチ位置を移動するスライド操作に基づいて、複数の線要素を生成する生成手段と、前記入力受付手段で入力を受け付けた表示アイテムを、前記生成手段で生成した複数の線要素に応じた遠近感となるように変形し、前記画像に重畳して前記表示部に表示するように制御する制御手段を有することを特徴とする。また、本発明の情報処理装置は、表示部に対するタッチ操作を検出する検出手段と、表示アイテムの入力を受け付ける入力受付手段と、前記入力受付手段で入力を受け付けた表示アイテムを、複数の線要素に応じた遠近感となるように変形して前記表示部に表示するように表示制

御する表示制御手段と、前記表示部に変形して表示された表示アイテムに対する、前記検出手段で検出されるタッチ位置を移動するスライド操作に応じて、前記表示アイテムを、前記複数の線要素の延長線が交差する点を回転軸として移動するように制御する制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示部に対するタッチ操作を検出する検出手段と、
選択された画像を前記表示部に表示するように表示制御する表示制御手段と、
前記画像に重畳して表示する表示アイテムの入力を受け付ける入力受付手段と、
前記表示部に前記画像が表示されている際に、前記検出手段で検出される、前記画像が
表示されている領域で行われたタッチ位置を移動するスライド操作に基づいて、複数の線
要素を生成する生成手段と、

前記入力受付手段で入力を受け付けた表示アイテムを、前記生成手段で生成した複数の
線要素に応じた遠近感となるように変形し、前記画像に重畳して前記表示部に表示するよ
うに制御する制御手段と

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記入力受付手段で入力を受け付けた表示アイテムを、前記生成手段
で前記複数の線要素が生成されたことに応じて表示するように制御することを特徴とする
請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記表示制御手段は、表示アイテムの入力を受け付けるための画面を表示させるよう制
御することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記表示部に表示された表示アイテムに対する第 1 の方向へのスライ
ド操作に応じて、前記表示アイテムを前記複数の線要素に沿って移動するように制御する
ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記表示部に表示された表示アイテムに対する第 2 の方向へのスライ
ド操作に応じて、前記表示アイテムを前記複数の線要素の延長線が交差する点を回転軸と
して移動するように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の情
報処理装置。

【請求項 6】

前記制御手段は、前記表示部に前記画像と前記入力受付手段で入力を受け付けた表示ア
イテムが表示されている際に、前記検出手段で検出されるタッチ操作に基づいて前記複数
の線要素を移動し、前記表示アイテムを移動後の前記複数の線要素に応じた遠近感となる
ように変形して表示するように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項
に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記表示部に対する少なくとも二点のタッチのタッチ位置が変化する操作に応じて、前
記表示部に変形して表示された表示アイテムの幅を、前記複数の線要素に沿って変更する
ように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に情報処理装置。

【請求項 8】

前記表示部に対する少なくとも二点のタッチのタッチ位置が変化する操作に応じて、前
記表示部に変形して表示された表示アイテムの間隔を、前記複数の線要素に沿って変更す

るように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記情報処理装置は、前記表示アイテムの変形に関する設定を受け付ける設定受付手段をさらに備え、

前記設定受付手段で受け付けた設定に応じて、前記表示部に対する少なくとも二点の操作の位置が変化する操作による表示アイテムの変形方法を決定することを特徴とする請求項 7 または 8 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

情報処理装置の制御方法であって、

表示部に対するタッチ操作を検出する検出ステップと、

選択された画像を前記表示部に表示するように表示制御する表示制御ステップと、

前記画像に重畳して表示する表示アイテムの入力を受け付ける入力受付ステップと、

前記表示部に前記画像が表示されている際に、前記検出ステップで検出される、前記画像が表示されている領域で行われたタッチ位置を移動するスライド操作に基づいて、複数の線要素を生成する生成ステップと、

前記入力受付ステップで入力を受け付けた表示アイテムを、前記生成ステップで生成した複数の線要素に応じた遠近感となるように変形し、前記画像に重畳して前記表示部に表示するように制御する制御ステップと

を有することを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 11】

表示部に対するタッチ操作を検出する検出手段と、

表示アイテムの入力を受け付ける入力受付手段と、

前記入力受付手段で入力を受け付けた表示アイテムを、複数の線要素に応じた遠近感となるように変形して前記表示部に表示するように表示制御する表示制御手段と、

前記表示部に変形して表示された表示アイテムに対する、前記検出手段で検出されるタッチ位置を移動するスライド操作に応じて、前記表示アイテムを、前記複数の線要素の延長線が交差する点を回転軸として移動するように制御する制御手段と

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 12】

表示部に対するタッチ操作を検出する検出ステップと、

表示アイテムの入力を受け付ける入力受付ステップと、

前記入力受付ステップで入力を受け付けた表示アイテムを、複数の線要素に応じた遠近感となるように変形して前記表示部に表示するように表示制御する表示制御ステップと、

前記表示部に変形して表示された表示アイテムに対する、前記検出ステップで検出されるタッチ位置を移動するスライド操作に応じて、前記表示アイテムを、前記複数の線要素の延長線が交差する点を回転軸として移動するように制御する制御ステップと

を有することを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 13】

コンピュータを、請求項 1 乃至 9、11 のいずれか 1 項に記載された情報処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 14】

コンピュータを、請求項 1 乃至 9、11 のいずれか 1 項に記載された情報処理装置の各手段として機能させるためのプログラムを格納したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。